

# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.1

おかやまコープは、子どもたちに戦争も核兵器もない未来を渡すために「平和活動」に取り組んできました。被爆・戦後80年の節目を前に、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞されたことは、平和の活動をすすめてきた私たちにとっても大きな喜びでした。

これからも被爆の実相や体験を次世代へ継承していくために、この一年を通して、皆さんと一緒に学び、考える機会にしていきます。

## エリアの取り組み

## おかやまコープの取り組み

### なぜ生協は 平和の活動に取り組むの？

人びとは第二次世界大戦中、たくさんの苦しい体験をしました。生協運動もまた、その存続には、平和こそが基盤になることがわかりました。私たちが求めるよりよいくらしは平和なくしてはありえないことを学び、1951年3月、日本生協連合会は創立宣言でまず第一に、平和を願う組織であることを表明しました。

活動の手引き2025  
65ページ

いろいろな  
取り組みをしてきたんだね  
ももずきんにゃんにも  
何ができるかな



### ● 平和行進

「核兵器も戦争もない平和な世界」を求めて被爆地広島まで各地をリレーでつないで歩きます。

### ● ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

被爆体験の継承や核兵器のない世界を求める思いを共有する場として毎年8月に開催しています。

### ● NPT再検討会議

核不拡散条約(NPT)再検討会議のことで5年に一度、核兵器の削減や拡散防止について話し合う国連の会議です。組合員の代表を送り、被爆者の証言活動などのサポートをします。

### ● 署名活動

核兵器廃絶のための行動の1つとして、署名活動に取り組んできました。核兵器禁止条約発効への大きな力添えにもなりました。

### ● 県民平和のつどい・平和のひろば

1982年から2012年の第31回まで、市民団体の代表が平和活動の報告会として開催しました。2013年からは岡山市原爆被爆者会と開催を継続しています。

### 岡山東エリア 平和学習 in ヒロシマ



### 岡山西エリア 岡山市 戦跡めぐり (2022年)



### 倉敷エリア くらしき 子ども 平和サミット



### 美作エリア 平和のひざかけを 贈る活動 (1995年～)



### 井笠エリア 平和行進 給水ボランティア



“平和大好き!”な  
皆さんに素敵な  
言葉を贈ります

### 備北エリア 平和ってなあに (2019年)



かど ちづこ  
**加百 智津子 さん**

元おかやまコープ組合員理事  
岡山「被爆2世3世の会」代表世話人  
被爆の体験を語り継ぐことを  
ライフワークとして活動をすすめている

メッセージ ノーベル平和賞は、核兵器廃絶を求める多くの被爆者、市民への称賛と期待を込めて贈られたメッセージです。生協がすすめてきた平和活動もちろん含まれます。そのことを誇りに思いましょう。95歳の被爆者の言葉です。「『平和』は、じっと待っていても自分から来てくれるものではないからね。力を尽くして、引き寄せ、つかみ取り、みんなで必死に守らないと、すぐに逃げてしまうよ」。大切な人たちが、戦争や核兵器で命がうばわれないように、今こそ一人ひとりの『私』が、平和のための努力を続けていきましょう。

コメント  
待ってます



「あなたにとっての  
平和って何ですか？」  
ももずきんにゃんは  
大好きなモズクを食べて  
いるときかなあ

これから毎月いろいろな方から  
平和への想いを寄せていただきます。  
皆さんからの感想・質問は  
委員会報告書へご記入ください。

被爆・戦後 80年

# 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～

vol.2

## 3・1 ビキニデーって知っていますか？

2025年の全国ピースアクション キックオフ集会と  
ビキニデー企画(2/28～3/1)にエリア委員会から4名が参加しました。  
現地で、見て、聞いて、学んで、感じたことを座談会で語っていただきました。

戦争と関係のない  
都道府県なんてないんだから  
地元のことを焦点を当てて  
身近に感じてもらうことも  
大事だね



岡山東エリア  
柴田 木実子さん

本当に多くの方が  
自分から求めて歩いていること  
(久保山愛吉さん墓参行進)  
その光景が目焼き付いて  
います

原爆漫才や  
マスコットづくりなど  
ハードルを下げることで  
次世代につなげて  
いきたいです



倉敷エリア  
坂本 美千枝さん

「ひとりひとりの力は  
微力だけど無力ではない  
大きな力になる。未来につながる  
一年にしましょう」  
この言葉が心に  
刺さりました

最初、場違い  
なんじゃないかな、と少し不安  
でしたが、いろいろな方のお話や  
久保山愛吉さん墓参行進の時など  
平和を願う人たちが  
こんなにたくさんいるんだ！  
と心強く思いました



各県の皆さん  
との交流の中で  
地域よっての温度差を  
すごく感じました

子どもたち  
向けの  
企画ができれば  
いいな



美作エリア  
清水 静恵さん

乗り合わせた  
タクシーの運転手さんが  
久保山愛吉さん  
のお孫さんの同級生で  
びっくり！

参加者の熱量を  
しっかり体感した。  
エリアでの企画に  
活かしたいな



備北エリア  
渡邊 倫子さん



専用フォームが  
できました！  
感想などは  
こちらから



予告 **平和のひろば 2025**  
7月26日(土) 13:00～15:00 オルガホール

## 3・1 ビキニデーとは…

1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島内・ビキニ環礁で水爆実験を行いました。日本のマグロ漁船「第五福竜丸」を含む900隻以上とマーシャル諸島の約20,000人が被ばくしました。以降「原水爆禁止」を求める声に呼応して放射能汚染に不安を持つ母親たちが立ち上がり、全国的な運動に発展。毎年3月1日には「第五福竜丸」の母港がある静岡県焼津市で、犠牲者の追悼と核兵器廃絶の願いを新たにす集会などが行われています。



久保山愛吉さん  
墓参行進



倉敷エリア  
メッセージの  
展示



キックオフ  
集会  
交流会



4名の皆さんそれぞれに、戦争や被爆体験を学び、次世代へ継承することの大切さはもちろん活動のヒントをたくさん持ち帰られたようですね。  
この紙面が読んでくださった皆さんの、「3・1ビキニデー」に関心をもつきっかけになると嬉しいです。そして「私たちにできること」一緒に考えてみませんか？  
委員会などでの話の「たね」にして、ぜひ声を届けてくださいね。  
次回は「ピースアクション in オキナワ」に参加された方たちの座談会のようなすを掲載予定です。

# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.3

## 知ってほしい、沖縄の『こと』

広島・長崎に原爆が投下される前の3月から6月にかけて、日本軍とアメリカ軍との沖縄をめぐる日本で唯一の地上戦が繰り広げられ、大きな被害を受けました。この戦いで多くの住民が犠牲になり、兵士も物資も足りない沖縄では15歳未満の子どもや60歳以上の老人まで動員されました。15歳から19歳までの少女たちも、主に陸軍病院などの看護要員として戦場に送られました。住民94,000人、沖縄出身者も含む日本軍9万4000人、アメリカ軍1万2500人、計20万人以上が亡くなりました。戦後、アメリカの占領下に入り、1972年に日本に返還されました。

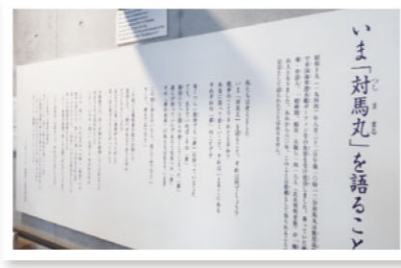
現在の沖縄は、観光地でにぎわっていますが、国土0.6%の土地に国内の米軍基地70%が集中している基地問題をはじめ、様々な問題を抱えています。そして、多くの戦跡などがその歴史を物語っています。



多くのかたが身を投げた岬



ひめゆりの塔



対馬丸記念館



魂魂之塔



ガマの視察

### 対馬丸事件

1944年8月22日に沖縄から本土へ出発した集団疎開船の一隻である対馬丸がアメリカの潜水艦に攻撃を受け沈没しました。この攻撃で学童825人を含む乗客約1,500人が犠牲となりました。



平和の礎



那覇空港



嘉手納基地



国際通り

ピースアクション in オキナワ (3/26～3/28) に参加されたみなさんからお話を聞きました



観光地のイメージが強いけど、基地や在留米軍が今も存在していてまだ戦後になっていないと感じました

百聞は一見に如かずわが身に置き換えて考えてみてほしい

対馬丸をモチーフにした子どもたちの劇「知ってほしい」がすごく伝わった前情報なしでみんなにも見てほしい

「戦争といえば核兵器」になっていた自分の感覚も変わりました

戦跡はいたるところ場所だけではなくて人々の心の中にずっと残っています

戦前・戦中・戦後から現代まで起こった出来事は全て点ではなく、線で繋がっていると感じた。生協の平和についての考えや立ち位置について学習する意欲が高まった。二度と繰り返してはならない惨劇は伝えなければならぬと感じた

なにもしらないことが恥ずかしくなった。目を背けないで関心を持ち続けようと思います。沖縄の外からの声が必要だと思う

心にのこった沖縄の「こと」おしえてください

倉敷エリア 小野 千恵子さん

井笠エリア 松岡 玲子さん

美作エリア 久常 真貴さん

コープ大野辻 今村 祐太さん

特設サイト

専用フォーム

沖縄の「こと」に触れると胸が痛みます。住民が地上戦に身を置き、戦闘に巻き込まれた三か月にわたる沖縄戦。あれから80年経った今も爪あとは残り、悲しみが続いていることを知るからです。そして現地で学んだ皆さんからの共通のメッセージは「行かなきゃわからない。行ってください。」でした。6月23日は沖縄慰霊の日です。平和な未来を願ってこの日、沖縄に想いを馳せてみませんか？ 私たちにできることのひとつです。



# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.4

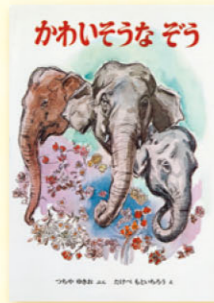
## 平和にふれる夏「読む」・「観る」・「聴く」

戦争と平和について想いをはせる機会が多い暑い夏がやってきました。さまざまな角度から関連したものなど、オススメを集めてみました。ちょっと立ち止まって、あなたの平和を考えてみませんか？


### 読む Book

**かわいそうなぞう**  
文/つちや ゆきお  
絵/たけべ もといちろう  
出版/金の星社

戦争の被害者は人間だけではなく、みんな大切な命です。



銃弾ではなく歌を。兵士を変えたクリスマスの夜の奇跡のような実話です。



戦争をやめた人たち  
絵・文/鈴木 まもる  
出版/あすなろ書房

**わすれないで 一第五福丸丸ものがたり**  
作・絵/赤坂 三好  
出版/金の星社・オルガ所蔵  
貸出/組合員活動グループ



サニーのおねがい  
地雷ではなく花をください  
絵/葉 祥明 文/柳瀬 房子  
出版/自由国民社



うさぎのサニーちゃんが地雷・平和について分かりやすく教えてくれます。

クラウドアのいのり  
作/村尾 靖子 絵/小林 豊  
出版/ポプラ社



戦後、シベリアに抑留された日本人男性とロシア人女性のお話。長い年月の末の結末とは。

**田中理事長からの推薦**

**パパ ママ バイバイ**  
作/早乙女 勝元  
詩/門倉 詠  
画/鈴木 たくま  
出版/日本図書センター

今でも悲しみが込み上げてきます。

「パパ ママ バイバイ」につきまして  
・現在、流通がほぼなく手に入りません。  
・この絵本のお問い合わせは、おかやまこorp 組合員活動グループへお願いいたします。



メニュー集 (P26~27) や《くみかつ広場》の「おやこで学ぶ平和ガイドブック」も活動の参考にどうぞ！ほかにも、お住まいの近くの戦跡などを調べたり、旅行先で資料館などを訪問してみませんか。

### 観る Movie



長崎で被爆者の救助にあたった看護学生たちの物語です。主題歌は福山雅治さんの「クスノキ」です。

『長崎 一閃光の影で』  
©2025「長崎一閃光の影で」製作委員会  
7月25日(金)長崎先行公開、8月1日(金)TOHOシネマズ 日比谷ほか全国公開 倉敷: 8/1(金)~、岡山未定

戦争中の生活を描いた、優しくて、とても悲しい…長く心に残っています。



『この世界の片隅に』  
©この史代・コアミックス/  
「この世界の片隅に」製作委員会  
今夏リバイバル上映  
イオンシネマ岡山  
期間: 8/1(金)~8/7(木)・8/15(金)



辛く悲しい現実の中で翻弄された、多くの子どもたちのことを知ってほしい。

『火垂るの墓』  
©野坂昭如/新潮社,1988  
発売元:ウォルト・ディズニー・ジャパン  
発売・販売元:ハビネット・メディア  
マーケティング ブルーレイ&DVD発売中  
8月に金曜ロードショーで放映決定



『戦場のピアニスト』  
『戦場のピアニスト 4Kレストア版』  
価格 Blu-ray ¥6,380 (税込)  
発売・販売元 KADOKAWA

ホロコーストを生き抜いた、実在のユダヤ人ピアニストの自伝です。

### 聴く Music

**Dragon Night / SEKAI NO OWARI**  
「戦争をやめた人たち」を元に作られた曲。深い歌詞にふれてほしい。

**島唄 / THE BOOM**  
沖縄の「こと」に思いをはせて。

**言伝 -ことづて- / ポルノグラフィティ**  
NHK広島「被爆80年プロジェクト」のテーマソング。力強く、明日への想いを感じます。

**ピースとハイライト / サザンオールスターズ**  
お互いの良いところを知って、お互いの幸せを願うこと。そうすれば争いは起こらないんじゃないかな。

口にすることがなかなか難しい平和への想い。被爆者を含む戦争体験者が減りつつある今、継承していく私たちもそろそろ想いを口にしなければと感じます。一冊の本、一本の映画、一曲の音楽が持つメッセージにならってこの夏、先ずは身近な人と平和について語ってみませんか？

皆さんのおすすめの本、映画、音楽など教えてください



専用フォーム



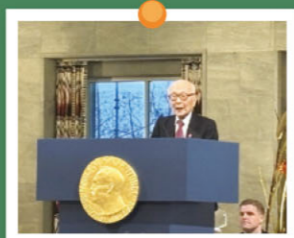
# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.5

ヒロシマ・ナガサキ ～一緒に考える8月6日、8月9日～

## 被爆・戦後80年をふりかえって

- 1945.8.6 広島市に原爆投下 …… ①
- 8.9 長崎市に原爆投下 …… ②
- 8.15 第二次世界大戦終結
- 1954.3.1 アメリカがビキニ環礁で水爆実験
- 1956.8 日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が発足 …… ③
- 1970.3 核不拡散条約（NPT）が発効 …… ④（NPT再検討会議が5年ごとに開催）
- 2017.12 核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞
- 2024.12 日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞受賞

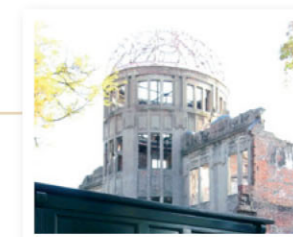


## 解説

- ① 午前8時15分投下12月末までに約14万人が亡くなられ、さらに多くの方が心身ともに後遺症などと闘って来られた。
- ② 午前11時2分投下12月末までに約7.4万人が亡くなられた。広島同様に多くの方が心身ともに後遺症などと闘って来られた。
- ③ 日本の原爆被爆者の全国組織。米国によるビキニ環礁での水爆実験（第五福竜丸事件）をきっかけに原水爆禁止運動が広がり、結成。核兵器の廃絶や、被爆者の救済を訴える活動を続けている。
- ④ 核兵器の拡散を防ぐことを目的とした国際条約。5つの核保有国以外の国が保有することを禁止しており保有国に対して核軍縮交渉を行うことを義務付けている。191の国と地域が加盟。日本は1976年に批准。NPT再検討会議は運用状況を見直すための会議で、5年ごとに核軍縮や核不拡散に関する議論をおこなっている。（前回は2022年）

## 復習しましょうクイズ

第1問 原爆が落とされた戦争は？



第2問 世界中にある核弾頭の数は？（2025.1現在）

第3問 NPTの正式名称は何という？



第4問 長崎の平和祈念像の左手が表しているものは平和。右手が表しているものは何？

第5問 日本被団協が結成されたきっかけになった出来事の一つは？

第6問 皆さんが気付いたことや、平和への思いなどを専用フォームに書き込みましょう。

解答いただいたコープ委員会には、コープ商品をさしあげます。お話の「たね」にしてくださいね。  
解答は8月度委員会報告書に記入しセンター・エリア事務局に提出してください。（締め切りは8月末）

被爆・戦後80年の節目に、これまでの主な出来事を振り返ってみました。様々な視点で平和の活動をしていても知らないことは多く、平和な未来を次の世代に手渡すためには、これまで学んできたことを自分事として、さらに学び続けていかなければ、と感じます。

人が集まる機会の多い8月。あなたの周りの人たち、家族や友だちと平和について話してみませんか？

委員会報告書や専用フォームで感想を聞かせてね



専用フォーム



# 被爆・戦後 80年

## 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～

vol.6

### 平和のひろば2025を開催しました Part1

7月26日(土)オルガホールに220名の参加で「平和のひろば 2025」を開催しました。

『被爆・戦後80年 想いをつなぐ 今 継承のとき』をテーマに、岡山市原爆被爆者会など地域で活動する団体にご協力いただき、Peace Education Lab Nagasaki代表理事の林田光弘さん、岡山市原爆被爆者会 廣信靖之会長、山陽学園書道部、山陽学園JRC部の取り組みなど、「継承」について様々な企画でつなぎ、平和の大切さを考える場となりました。



ノーベル平和賞受賞日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)代表委員の田中熙巳(てるみ)さんからビデオメッセージをお届けしました。



#### 参加者の声

日本被団協の皆さんが高齢にも関わらず、世界に訴え続ける姿勢、尊敬しかありません。

田中さんのメッセージを聞いて継承の意義と重要性を改めて感じました。



### 講演：長崎が最後の被爆地であり続けるために

Peace Education Lab Nagasaki 代表理事の林田光弘さん



日本被団協がノーベル平和賞を受賞した理由や様々な兵器がある中で、なぜ核兵器は禁止すべきなのか、被爆者が伝えてきた平和や平和を阻害する暴力の3つの分類、あらゆる暴力と向き合うことが平和をひろげるなど、これからの平和活動についてお話いただきました。

被爆体験を継承する若い方々のお一人の林田さんのお話から静かだけど熱い想いが伝わりました。ご自分の生まれ育った環境の中から自分は何をすべきかを見出され前進されている姿を今の若い人達にも是非伝えたいと思います!

語り部が減少する中、戦争を知らない世代へ継承していくために、新たな時代の流れに沿った平和への学習法を見出す工夫がなされていること、被爆という一視点からだけでなく他の側面からも考える活動のようすを聞き、今一度 平和への取り組みを考えてみようと思った。

正義とは何か、集団の力とは何か、私たちにできることはなにか。普段の生活の中でも考えなければならぬことだと思いました。

### パフォーマンス・紙芝居・朗読 山陽学園中学校高等学校書道部・JRC部のみなさん



書道部からは、メイキング動画とともに平和への願いを込めた力強い作品を紹介いただきました。JRC部からは、原爆体験を絵本にした紙芝居や岡山県原爆被爆者会の廣信会長の体験談を朗読いただきました。

まず会場に入った時、右端にある書道の作品に目が止まりました。会場的に実演は難しく、撮影をした演技を見せていただきましたが、とても素晴らしかったです。紙芝居の朗読も引き込まれました。若い世代がこうやって戦争の事を伝えていくことは大切ですね。

### 企画：紙芝居・ピースアートワークショップ・平和の絵はがき・原爆と人間展



紙芝居「むかし 戦争がありました みつちゃんのなつ」を観て、子どもたちが感じた“岡山空襲のときの気持ち”や“現在の気持ち”“未来にむけた気持ち”を想いのまま色えんぴつや絵具をつかって表し、ピースアートにまとめました。「平和の絵はがき」は140枚寄せられ、ピースアートと一緒に紹介しました。ふたたび被爆者をつくらない、核兵器廃絶の想いを伝えたいため、日本被団協制作の「原爆と人間パネル」を展示しました。

それぞれの平和への想いが込められた展示で、平和を皆が願っているのだと感じるところがありました。みなさんの描いた平和の絵はがき作品を観るのが楽しかったです。原爆写真展も考えさせられるものがありました。

### 活動の紹介：倉敷・美作エリアと“戦争ほうき”



倉敷エリアから「くらしき子ども平和サミット」などの取り組みの紹介と展示。美作エリアから「へいわのひざ掛けを贈る活動」の紹介がありました。3.1ピクニデー参加者からは、「戦争ほうき」の配布と紹介がありました。

戦争や核兵器をなくすために私たちにできることを考えてみませんか。



平和のひろば2025 アーカイブ動画配信はこちらから

# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.7

## 平和のひろば2025を開催しました Part2

継承をテーマにたくさんの企画でつないだ「平和のひろば2025」  
Part2の今回は企画に携わってくださった方々の想いをお届けします。

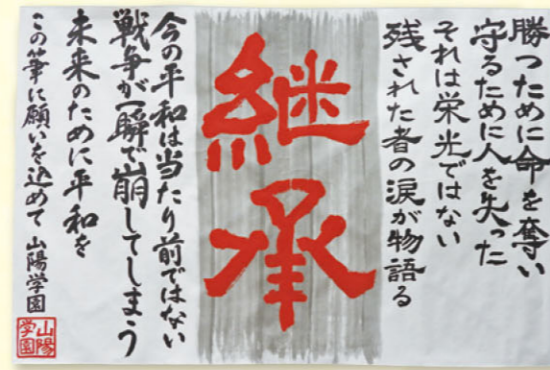
### 山陽学園中学校高等学校 書道部



書道部 部長 内野さん

自分たちで戦争について調べながら、どんな言葉を書くか考え、作品やパフォーマンスを作りました。作品の中心には「平和のひろば」のテーマ

でもある「継承」という文字を隷書で大きく書きました。右側は、JRC部のみなさんから聞いた被爆者の言葉をもとにしたもので、左側はおかやまコープの方から聞いたことをもとに考えた私たちの平和の想いを書きました。私たちは、「想い」を文字に起こして伝えることができるので、それを活かして自分たちが感じたことをありのままに後世につなげていきたいと思いました。



書道パフォーマンス  
動画はこちら



### 山陽学園中学校高等学校 JRC部



土屋さん訪問

土屋さん(元、岡山県原爆被爆者会長)にお会いし、お話を伺いました。これから、土屋さんの絵本「ピカドンの恐さを体験して」を通して想いを伝え、若い世代がひとりでも多く、あたりまえのことに感謝して、平和の尊さを感じてほしい。



署名活動



語りべ活動

### ワークショップ

紙芝居



創作紙芝居  
「みっちゃんの夏」  
岡山空襲体験談 今脇さん 赤澤さん  
(おかやまコープくらしのサポーター)  
子どもや若い人たちに岡山であった空襲や引き揚げの話や、「悲しい思いを二度とすまい」と覚悟を持って成長してもらいたい。

ピースアート



ピースアート 和田さん  
戦争が自分ごとだった時代の子どもの気持ちを想像し、色や形として伝え表現する、そして今の幸せな時代に生きていることが素晴らしいと感じてもらえるように、1人2枚の命のモチーフを作り、1枚のピースアートを作成しました。過去から未来へ、平和と大切な命がずっとつながっていきますように。

### ブース出展者

倉敷エリアのみなさん

長年、私たちが取り組んできたことを多くの方に見ていただける機会がもてて良かった。継承していく大切さを今後も伝えたい。



くらしき子ども平和サミット  
公募した子ども平和大使たちが、身近な戦跡を訪ね、平和について学び、交流をします。今年で18期生を迎えました。

美作エリアのみなさん

ひざかけになるまでの工程や、この取り組みを伝え、知ってもらえることができると嬉しい。



くへいわのひざかけ  
平和の願いをこめたモチーフを多くの方の手によってつなぎ、ひざかけとして、長崎県「原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ」へ贈り、30年目を迎えました。自宅でもできる平和の取り組みです。

「戦争ほうき」をお知らせした  
3.1ピクニデーに参加されたみなさん

多くの方が興味を持ってくださりすぐにつけていただけてとてもうれしかった。今の生活があたりまえでないこと、1人ひとりが学び考えていくべきことを伝え続けたい。



く戦争ほうき  
湾岸戦争をきっかけに、ひとりの生協組合員が小さな「ほうき」に平和を願う気持ちを込めて作り始め、やがて全国に広まりました。(ほうき=放棄)

ももずきんにゃんも  
友だちと平和の大切さについて話したよ。みんなは誰と話したかな?



専用フォーム



被爆・戦後80年の節目の「平和のひろば2025」は、実はさまざまな人の想いが詰まっていた。会場に来られなかった人にも、誌面を通して感じとっていただけたらうれしいです。そして、これをきっかけに自分にできる小さな一歩がふみだせたら素敵ですね。

# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.8

## おりづる平和新聞 ちょっといい話

大きな反響をいただいた「おりづる平和新聞」(コープのたね9月号掲載) 今月は子どもたちを支えた大人たちの想いを届けます。

参加者の 座談会を行いました。(8月25日) 新聞づくりをきっかけに「さまざまなことに興味を持つようになった」「知ること、伝えることの大切さを学んだ」など、その後のようすをおうかがいすることができました。



拝啓  
皆様お元氣でしょうか！アンケートがかり遅くなり  
申し様ありません。  
戦争について学びたい気持ちを持ち、図書館や  
本を借り、読んでみる様です。学ぶ機会を持つ事ができ  
ました。皆様お身体に気をつけてお過ごし下さい。

保護者の方から  
お手紙をいただきました



山陽新聞社  
中川さん

「子ども記者」らしく、取材する中で気になる点を質問するなどがんばっていました。伝えたいことをていねいにまとめた新聞ができたと思います。



おかやまコープ  
組員活動グループ  
湯浅さん

平和学習と新聞作りという欲張りな企画のたくさんさんの要望に、親子で真剣に向き合い新聞が見事完成。たくさん笑顔と元気をもらった企画でした。



増永さん

戦争当時のお話を聞いたり、実際に見て回ったりして想像して考えるきっかけをたくさんいただくことができました。(今こんなことがまた起きたらと思うと…)このまま平和であってほしいと改めて感じました。

信岡さん

年の近い仲間と一緒に現場へ足を運び、戦争のことを聞いて、娘は初めて戦争を身近に感じて、恐ろしさを感じたようです。過去に起こった事実やその影響の恐ろしさを本気で伝えようとしてくださる人の姿から、何かを感じ、自分から興味を持って戦争関連の本を読むようになり、心境の変化に驚かされました。

豊福さん

新聞を書くために、自分で考えて何を伝えたいかを調べたり、見たり、聞いたり、行動が継続できたことは成長でした。戦争のことを詳しく知れて、子どもと共に考えるきっかけにもなりました。家族と話すことがあり、聞くことのない話が聞けました。

保護者のみなさんから  
メッセージ



藤原さん

初めは「母に連れて来られて、ただ参加してただけ」と言っていたのですが、少しずつ戦争のことを知り、興味をもったようで、テレビや新聞でも戦争についての記事を見つけたのが早くなりました。今回、私たちが学んだことは、家族や学校でも交流していきたいと思いました。



稲森さん

私も県外出身なので、一緒に学ぶことができてよかったです。できるだけ口出しせず、新聞記者の方やコープの方にお任せできたのもありがたかったです。

平松さん

子どもたちはまだピンときてない部分があると思いますが、成長と共に今回のことを思い出して平和につなげていってくれたらと思っています。



竹下さん

新聞社の方に新聞についていろいろ教えてもらったので、子どもが新聞をちらっと読むようになりました。岡山空襲について子どもは初めて知りました。戦跡めぐりなどを通して、戦争の悲惨さや恐ろしさが分かったと思います。記事にするために親子でたくさん話をしました。

新聞発行を支えてくださったみなさん  
ありがとうございました。

感想、ご意見  
お待ちしております

専用フォーム



# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol.9

## ヒロシマ・ナガサキの熱い夏

ピースアクション in ヒロシマ、ナガサキに参加した8名が、観て、聞いて感じた想いを座談会で語り合いました。

### ピースアクション in ヒロシマ 8月4日・5日

高田あゆみさん (岡山東エリア)

身体にも心にも消えない傷を刻む戦争はダメだといえるように心に置いておきたい。絵碑のこと初めて知りました。現地に赴いて観てまわることができたらいいなと思いました。



佐々木享子さん (倉敷エリア)

山田寿美子さんの被爆証言では戦争が終わっても続く悲しみの連鎖を知れました。当時2歳で記憶はないそうですが、親を亡くした戦争孤児の悲惨さを知ることができました。



谷山文子さん (倉敷エリア)

長年にわたり原爆のことを語り続けることができなかつた方々がたくさんいることを知りました。トラウマを抱えながら被爆の実相を私たちに伝え、戦争の悲惨さ・核兵器廃絶への想いを次世代に伝えて欲しいという願いを受け止め、広げていく大切さを学びました。

### 子ども平和会議

野面さんの息子さん

ぼくは友達に会ったり遊んだりするのが大好きです。でも戦争のときは楽しい居場所がなくなってとてもさみしいです。戦争という恐ろしさを知って身近なことから考えるのが大切と思いました。



野面祐己子さん (岡山東エリア)

分科会「被爆の証言」に参加し、お話しの中で、「国籍・人権・民族・性別・貧富・老若・障がいなどに関係なく世界中のすべての人の命の重さに違いはない。地球という同じステージに住む運命共同体であり、みんな大切なひとり。」という言葉が心に残りました。



### ピースアクション in ナガサキ 8月7日・8日



頓宮昌実さん (岡山東エリア)

一番驚いたことは、学生が平和活動に対して自ら考え意欲的に活動していることです。若い世代の人が自分の言葉で私たちに伝えてくれると素直な気持ちで聞くことができ、よりダイレクトに入ってきました。家族や知人、友人と平和について語り、考える時間を作りたいと思いました。



難波克子さん (倉敷エリア)

原爆資料館では被災した人たちのリアルな写真がたくさんあり、より原爆の悲惨さを実感しました。戦争を過去の出来事ではなく、自分ごととして考え、事実を知り、関心を持つことが大事だと学びました。引き続き子どもたちと戦争について学んでいく平和活動を続けていきたいです。



大学生 ボランティアガイド



山王神社被爆クスノキ

「怒りの広島」とは違い「祈りの長崎」を感じられた3日間、そして「微力だけど無力じゃない」コツコツと積み上げてきた活動が大きくなっていると実感できました。



### 美作エリア 平和のひざかけの取り組み

長崎県西海市にある〈原爆被爆者特別養護ホームかめだけ〉に『平和のひざかけ』を贈り、今年で30年になります。平和への想いを込め、多くの方が編まれたモチーフ一枚一枚は、また違う方の手によってつなぎ合わせ、ひざかけにして利用者の皆さんにお届けしています。



生内清恵さん (美作エリア)

施設内の庭園はとてもきれいに整備され、四季折々に花木を愛でながら穏やかに過ごされているのだらうと思いました。今回30年を機に訪問させていただき、このつながりをずっと贈り続けていけるようバトンをつないでいきたいと強く思いました。



感想、ご意見お待ちしております

ピースアクション参加者との座談会は今回が最後です。毎回感じるのは現地での学びはとても貴重だということ。ぜひみなさんに行ってほしいです。いろいろな制約の中、それが難しくても学べる方法はたくさんあります。ちょっとした関心から、もっと知りたい、伝えたいという、その想いや行動が、一人でも多くの方に広がることを願っています。



専用フォーム



# 被爆・戦後 80年 平和の想いをつなぐ

～今 継承のとき～ vol. 未来へ

戦後81年目を迎える2026年となりました。  
2025年、各エリアでもさまざまな企画を通じて継承をテーマに取り組み、  
多くの方たちと想いを共有することができました。  
それぞれの企画をご紹介しながら、この一年を振り返ってみましょう。

## 岡山東エリア

岡山空襲で犠牲になった方々への鎮魂と平和への願いを込め、今年も6月半ばから岡山市表町商店街の「平和の波」に参加しました。吹き流しを見て、今ある“平和”が大切であることを感じて想いを深めてくれるとうれしです。また、「絵本と音楽でつなぐ平和の想い～今継承のとき被爆・戦後80年」では、親子で平和について話すきっかけになり、フルートの生演奏の中、音楽を聴ける、この時が平和なのだと思われました。



## 岡山西エリア

「平和の波」に折り鶴の吹き流しを作成して、岡山東エリアと一緒に参加しました。戦後80年企画として、10月に岡山空襲戦跡巡りを開催しました。参加者の方からは「戦争を知ることによって平和のありがたさを知った」「岡山空襲を身近に感じ、通り過ぎていた場所を今日からは想う所のある場所になった」「ずっと忘れてはならない大事な記憶と記録に触れた気がした」と感想が寄せられました。企画で学んだことをウィークリーコープでお知らせするとともに、定期的に戦跡巡りを企画して私たちの身近に戦争があったことを伝えていきたいです。



## 倉敷エリア

戦後・被爆80年を振り返るため、現在までの世界の情勢とくらしき子ども平和サミットの取り組みについて年表にまとめました。10月には、その18期子ども平和大使と一緒に第二次世界大戦中特攻隊訓練基地として多くの若者たちを送り出した「sara かさい」を見学しました。戦時下の教育の恐ろしさや飛び立つ若者たちの心のうち、それをおもひかた家族の想いに言葉もなく胸が締め付けられました。また日生協のピースアクション(キックオフ、オキナワ、ヒロシマ、ナガサキ)に参加して、体感したことをウィークリーコープでお知らせし、改めて平和の大切さを感じ、これからも広く学び、知らせ、継承していきたいと思いました。



## 美作エリア

自宅でできる取り組みとして、平和の想いの込められたモチーフをつないだ「ひざかけ」を長崎県の「原爆被爆者特別養護ホームかめだけ」へ贈っています。今年で30年となり施設を訪問した組合員の報告会で、喜んで使ってくださっている様子をお聞きすることができ、つながりをうれしく思います。また、蒜山郷土資料館で蒜山高原の戦争遺構について学びました。秘密裏にされていたこともあり、模擬戦争などが行われていたことも。当時の資料も少なく、地元の方の証言が貴重であるけれど皆さん高齢であることで聞き取りが急がれることや、トーチカなどの整備、保存などの課題も多いことを知り、学び続けることの大切さを感じました。



## 備北エリア

吉備路平和行進では総社市役所ちゅっぴーホールでの出発式に参加しプロチを贈呈しました。「ピースカフェ 平和の想いをつなごう」では岡山被爆2世・3世の会の加百さんのお話を聞き、自分にとっての平和とは何か?を考える大事な時間となりました。またカフェスタイルとし、和やかな雰囲気に参加者の方々と交流しながらあらためてまた平和の大切さについて学ぶことができました。



## 井笠エリア

5月6日に東京・夢の島を出発し、全国を巡って8月4日に広島、8月6日に長崎を目指す平和行進。井笠エリアでは毎年7月26日に笠岡市から福山市へ向かう途中の2か所で給水ボランティアをしています。今年度も冷たい飲み物や氷、凍らせたわいわいスティックゼリーを用意して平和を願って歩く皆さんをお迎えしました。厳しい暑さの中でしたが、元気よく歩く姿を見ることができてよかったです。1歩ずつでも平和な世界に近づくことができるよう祈っています。



各エリアの皆さん おつかれさまでした。そして2026年...

私たちが求める「よりよいくらし」は平和であってこそ目指せるものであり、その平和を脅かすものの一つが核兵器です。今年2026年は、NPT (核不拡散条約) 再検討会議※が開催される年です。おかやまコープは10年ぶりに開催地のニューヨークに代表を送り、(4/27~5/22) 被爆者の方々と共に、核兵器廃絶を願う多くの人の想いを世界に届ける活動に参加します。

### 🍀 NPT再検討会議ってなあに

Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons = 核兵器の不拡散に関する条約 (核不拡散条約)

NPTは、核軍縮に向けての唯一の国際的な枠組みです。1970年に発効し、加盟国は191カ国です。NPTの主な目的は、核兵器の不拡散と核軍縮、原子力の平和利用の促進です。この条約がきちんと守られているかをチェックし、今後の取り組みを話し合う会議がNPT再検討会議で、5年に1度国連本部 (ニューヨーク) で開催することが定められています。

### 🍀 これまでの代表派遣

おかやまコープは、NPT再検討会議が開催されるニューヨークへ組合員を派遣することを大切にし、平和の活動を広げてきました。現地では日本被団協の方々のサポートなどを行っています。

2005年

日本被団協と生協で合同代表団を派遣 おかやまコープ1名派遣  
イスラエルの核問題などの中東問題やイランの核開発などをめぐり、非同盟諸国と西側諸国の間で意見が対立し、この会議の成果をまとめた最終文書が採択されず

2010年

生協代表団を派遣 おかやまコープ2名派遣  
「核兵器のない世界」への明確な目標が示され、最終文書は全会一致で採択

2015年

生協代表団を派遣 おかやまコープ3名派遣  
中東非大量破壊兵器地帯をめぐる対立により、最終文書を採択できずに終了  
一方で、核兵器の非人道性に関する議論が進展、核兵器禁止条約につながる動きが強まる

2020年

コロナ禍で延期 派遣は実現せず  
日本被団協と生協で合同代表団を派遣予定 おかやまコープ3名派遣予定

2022年

コロナ禍影響下での開催  
生協は代表派遣の規模を大幅に縮小 おかやまコープは派遣を断念  
ウクライナ侵攻などが争点となり、ロシア1国の反対により、最終文書は採択されず

2026年

生協代表団を派遣 おかやまコープ1名派遣決定!

### 🍀 おかやまコープの代表として 水島さんをニューヨークへ! (4/24~5/1)

#### 水島啓至 統括



2024年12月、日本被団協は核のタブーの確立への貢献などが評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。被爆・戦後80年の節目となる2025年には、おかやまコープでもさまざまな取り組みを行ってききました。

しかし近年、核軍縮の停滞や核保有国間の緊張、地域紛争の激化など、私たちの願いとは逆行する動きが続き、核のタブーが揺らぎつつあります。NPT再検討会議は、被爆者の声を国際社会に届け、核兵器使用がもたらす惨禍を議論につなげる重要な機会です。

私たちは「微力ではあっても無力ではない」と信じ、日本被団協の皆さまの活動をしっかりと支え、組合員の皆さまの平和を願う思いを届けてきます。



#### 田中照周 理事長



被爆・戦後80年の取り組みは継承をテーマに、子どもたちや若者を含む平和を願う広範な市民の皆さんと協同し各地で旺盛に取り組まれました。ピースアクション、平和のひろば、各エリアのさまざまな取り組みなどに参画、参加された皆さん本当にお疲れ様でした。

一方、情勢は終わりの見えない戦闘、一方的な力による現状変更の試みが続くなど、私たちにとってがっかりする出来事が続いています。

被団協のノーベル平和賞受賞も、核兵器が使用されてはならないという規範「核のタブー」が危機に瀕しているためだと授与の意義を説明されています。

だからこそ私たちは昨年の取り組みの拡がりに確信をもって、今後も歩み続けていく事が大切です。その点でNPT再検討会議は核兵器廃絶の世論を拡げる絶好の機会となります。戦争や核兵器に命を奪われないよう、平和を脅かす世の中の動きに、決して負けないよう一歩一歩ともに進んでいきましょう。



### 🍀 編集後記



一年にわたりお届けした「平和の想いをつなぐ 今継承のとき」平和についてもっと気軽に話題にしてほしくて作ったページです。ご紹介した音楽を聴いたり、絵本を読んだり、もしかしたらどこかの資料館や戦争遺構を訪れたりされたかもしれませんね。いろいろな場面で話題にして声をいただいたこと、また、誌面掲載にあたりご協力いただいたことに感謝いたします。一人ひとりの心に残った想いが、日々のくらしの中で、平和について考えるきっかけになればいいなと思います。被爆・戦後80年を経て、今年はNPT再検討会議が開かれます。不安要素の多い今の世界情勢だからこそ、世界規模の取り組みにも関心を広げていただけたらと思います。わたしたちの小さな平和の活動が世界の平和につながると信じ、伝えることを忘れずにいましょうね。



専用フォーム

感想、ご意見  
お待ちしております

